



個人トータル表

女子		令和6年10月26日		11:00 開始													
決勝		大和興産安佐北区スポーツセンター		0													
比治山女子 74		<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>25</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>19</td></tr> </table>		15	1st	23	21	2nd	25	22	3rd	16	16	4th	19	◎ 清水ヶ丘 83	
15	1st	23															
21	2nd	25															
22	3rd	16															
16	4th	19															
(広島県)				(広島県)													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	高島 彩奈	32	2	12	2	3	2	下青木 菜愛	-	-	-	-	-				
5	横田 栞奈	-	-	-	-	-	3	大原 奏愛	-	-	-	-	-				
* 6	隋行 莉咲	2	0	1	0	0	5	山根 咲笑	-	-	-	-	-				
7	村井 奈央子	-	-	-	-	-	* 8	木村 歌歩	32	1	14	1	3				
8	平野 葵瑚	9	0	4	1	0	9	川 焯 恵	-	-	-	-	-				
* 9	竹本 明衣	0	0	0	0	2	10	黒川 愛希	-	-	-	-	-				
* 10	佐古 みのり	12	2	3	0	2	11	山本 小桜	-	-	-	-	-				
* 11	大成 彩紫	8	2	1	0	0	* 13	仲山 志希	11	3	1	0	1				
12	高井 杏菜	-	-	-	-	-	* 15	井澤 菜乃	24	6	3	0	1				
13	尾上 ことは	8	2	1	0	0	16	小川 朝妃	0	0	0	0	0				
14	藤川 千紘	-	-	-	-	-	17	玉守 朱鯉	-	-	-	-	-				
15	西亀 帆花	-	-	-	-	-	19	平川 紗蘭	-	-	-	-	-				
16	長原 そら	-	-	-	-	-	* 22	松原 瀬菜	10	2	1	2	2				
17	行友 彩月	3	1	0	0	0	* 24	永川 里桜	6	0	3	0	2				
18	大谷 爽雅	-	-	-	-	-	28	木村 美咲	-	-	-	-	-				
コーチ	寺 廻 唯					0	コーチ	小原 健太					0				
Aコーチ	谷口 未聡						Aコーチ	大久保 忠雅									
合計		74	9	22	3	7	合計		83	12	22	3	9				
主審: 皆川義紀																	
副審: 中島淳																	
副審: 岡山幸二																	

〔戦評〕

比治山女子vs清水ヶ丘  
スタート比治山女子#4. 6. 9. 10. 11  
清水ヶ丘#8. 13. 15. 22. 24  
2024年広島県高等学校秋季バスケットボール大会決勝は、お互いに初優勝目指す比治山女子高校と清水ヶ丘高校の対戦となった。

1Q  
両チーム、ハーフコートマンディフェンスで試合開始。清水ヶ丘#8の力強いゴール下での試合最初の得点が決まる。対する比治山女子もすかさず#4のバスケットカウントで返し、両者主導権は渡さない。清水ヶ丘は#8と#15のドライブでリズムを作る中、比治山女子も#4と#10のジャンプショットを起点に試合を組み立てていく。残り1分切ったところで清水ヶ丘は#8の連続得点からここまで最大の5点差にリードを広げる。さらに終了間際に#15の3ポイントが決まり15-23で清水ヶ丘が8点リードで1Qが終了する。

2Q  
試合開始早々に、清水ヶ丘#8の3ポイントとジャンプショットで1Qの勢いそのまま清水ヶ丘が得点を重ねる。対する比治山女子も#4の3ポイントや#8のゴール下への合わせなどで喰らいつくが、清水ヶ丘#15の連続スリーポイントや#24のオフェンスリバウンドから得点が重なり、残り時間4:58で25-39と2桁の点差がつく。

中盤比治山は、フリースローで得点を重ねるも勢いに乗った清水ヶ丘の流れは止められず、残り時間2:42比治山1回目のタイムアウト。タイムアウト明けも清水ヶ丘がオフェンスリバウンドを立て続けにとり、それを得点に繋げる。残り時間25秒で比治山#13が3ポイントを決め、流れが比治山に変わり前半が終わると思われたが、2Q終了間際、清水ヶ丘#8がステップインですかさず得点を返し、36-48で前半終了。

3Q  
後半開始から比治山は2-3のハーフコートゾーンディフェンスで仕掛ける。中へのドライブを防ぐも、清水ヶ丘は落ち着いたパス回しやキックアウトで連続3ポイントを決め、勢いが止まらない。中盤比治山女子は、オフェンスにギアを入れ#4がステップイン、3ポイント、ジャンプショットと3連続得点を重ね、47-57と10点差に詰め寄り、流れを掴み始める。しかし、清水ヶ丘も3ポイントを確実に決めるなどし、両チーム激しい点の取り合いとなる。

残り時間2:39フリースローの後、清水ヶ丘が2-3のハーフコートゾーンディフェンスを仕掛けるも、比治山女子#4のドライブから#11に合わせ、さらに3ポイントを決める。58-64と一気に6点差へと縮め3Qが終了。

4Q  
3Qに引き続き、比治山女子のディフェンスは変わらず2-3のゾーンディフェンスでスタートするも、清水ヶ丘#8のバスケットカウントが4Q最初の得点となる。その後も清水ヶ丘#8の華麗なパスから#24がゴール下を決め、主導権を渡さない。さらにこの試合3本目のディーブスリーを#15が決め、65-76で再び2桁に点差が広がる。

比治山女子は#8のリバウンドシュートから得点を重ねるも、清水ヶ丘は慌てることなく多彩なオフェンスを繰り広げ、ゲームをコントロールする。得点が欲しい比治山はマンツーマンディフェンスに戻し、果敢にゴールを狙う。しかし清水ヶ丘がリバウンド、ルーズボールを粘り強く取り続け74-83で試合終了のブザーがなり清水ヶ丘高校が勝利した。

敗れはしたが#4を中心としたオフェンスと連携の取れたチームディフェンスで素晴らしいゲームを繰り広げた比治山には拍手を送りたい。

初優勝した清水ヶ丘は、持ち味の3ポイントを武器に全国大会での活躍を期待したい。